

# 人工呼吸器IPV®

## 日常管理マニュアル(勉強会用)



PERCUSSIONAIRE® JAPAN

# —名称と機能—

## ・IPV®-1C



操作圧計

設定した操作圧の表示

気道内圧計

頻度調節ダイヤル  
パーカッションの頻度と強度を調節します

操作圧調節ダイヤル

右回し: 操作圧強める  
左回し: 操作圧弱める

マスタースイッチ  
装置を起動します

ON: パーカッション、ネブライザー発生  
OFF: パーカッション、ネブライザー停止

赤色 (GAUGE) : 赤色チューブ  
白色 (PHAS) : 白色チューブ  
緑色 (REMOTE) : 緑色チューブ  
黄色 (AEROSOL) : 黄色チューブ

QDソケット  
4連チューブを各色のソケットに接続します

マニュアルボタン  
緊急の場合に作動をマニュアルに切り替えます

## ・インパルセーター®

QDソケット  
4連チューブを各色のソケットに接続します

赤色 (GAUGE) : 赤色チューブ  
白色 (PHAS) : 白色チューブ  
緑色 (REMOTE) : 緑色チューブ  
黄色 (AEROSOL) : 黄色チューブ

キャリブレーション・ダイヤル  
このダイヤルは常に12:00の位置に固定して動かさないでください。

頻度調節ダイヤル  
パーカッションの頻度と強度を調節します

気道内圧計

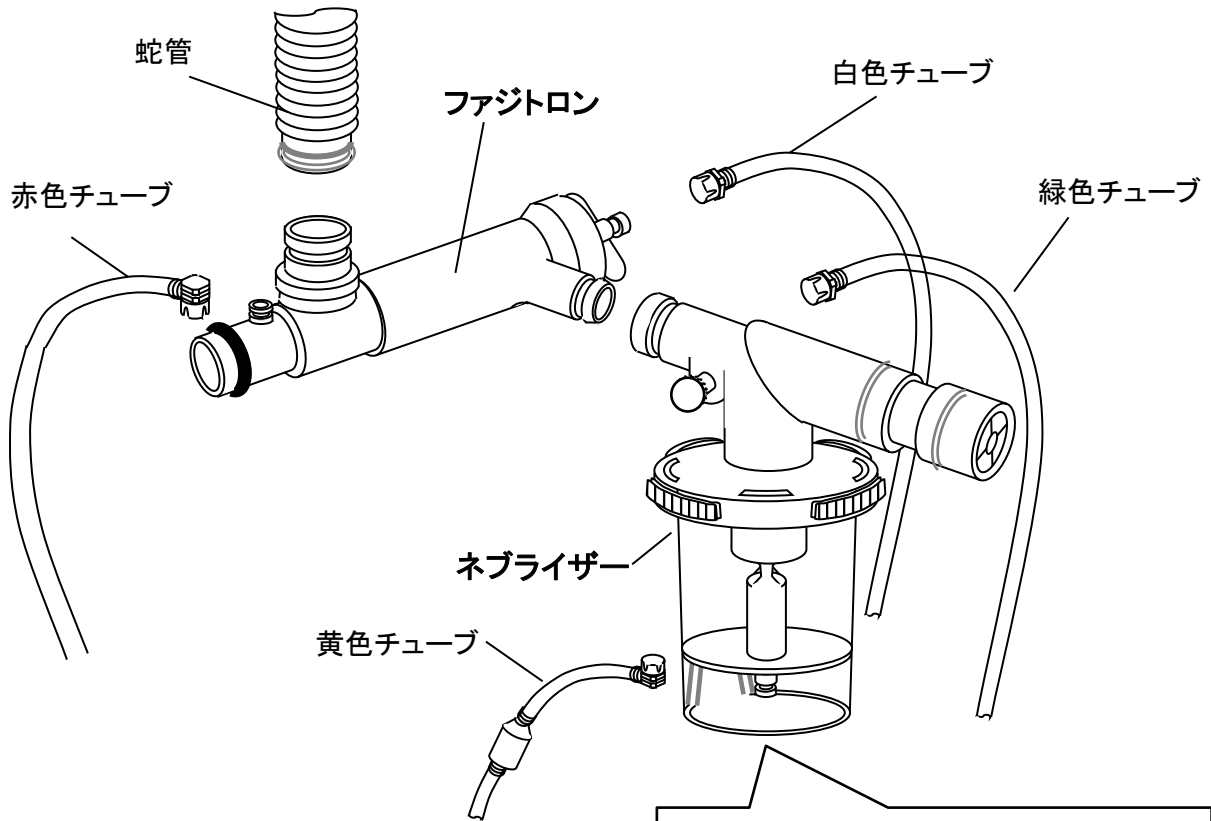
操作圧計

設定した操作圧の表示

操作圧調節ダイヤル

右回し: 操作圧強める  
左回し: 操作圧弱める

## ・IPV®呼吸回路



### 親指ボタン

緑のラインをつないだ場合：押している間、パーカッション発生  
 緑のラインをはずした場合：連続でパーカッション発生

### ネブライザーの薬液の上限は**20CC**

薬液を入れすぎると、この部分から液がしみ出す場合があります。

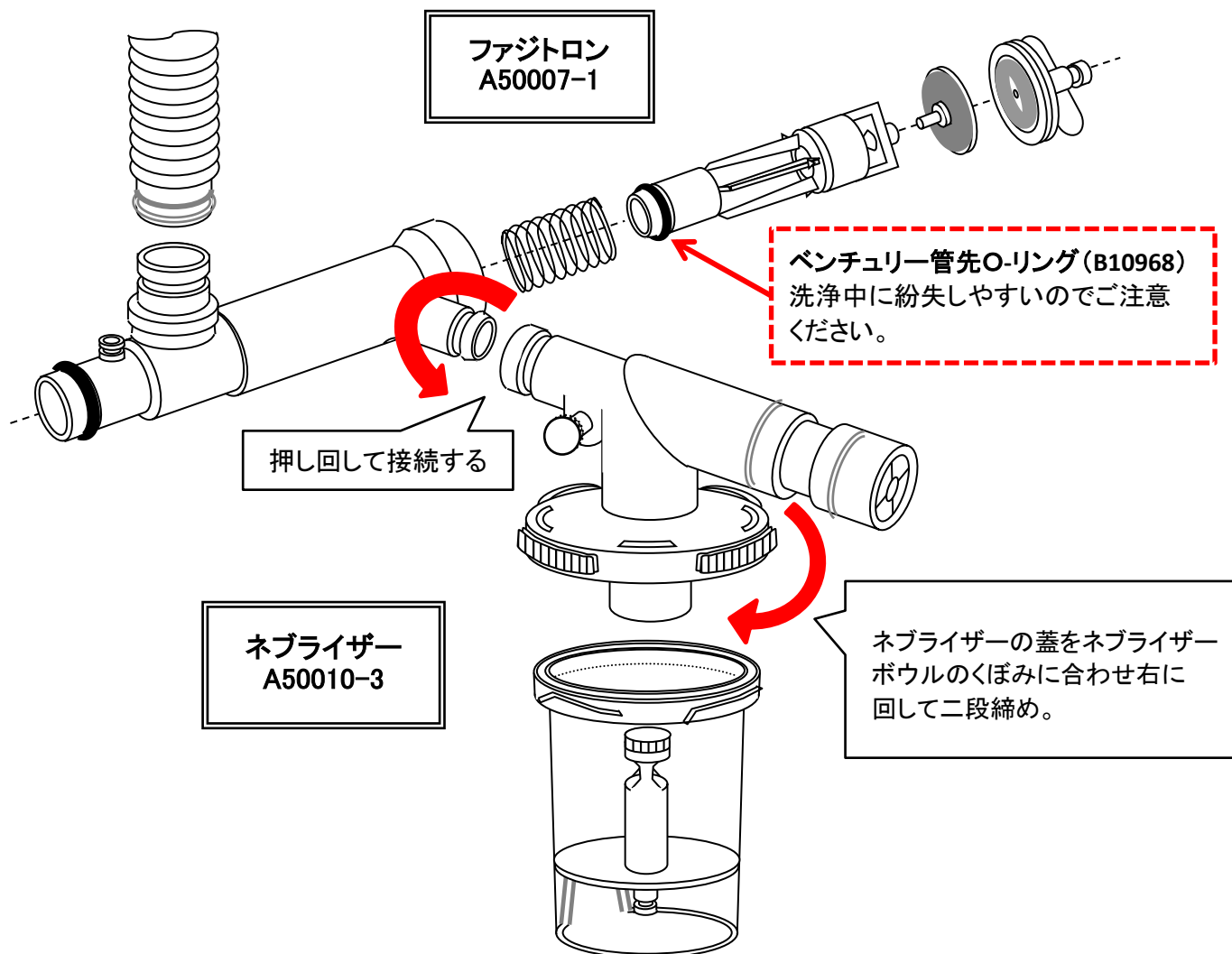
## <QDコネクターの取扱いについて>



- ① QDコネクターにはこまめに潤滑剤を塗ってください。
- ② QDコネクターの接続、脱着は真っ直ぐに抜き差しを行ってください。
- ③ Vカムはクラックが入っていないか常に確認してください。クラックが見つかったら新品と交換してください。
- ④ 全てのO-リングは潤滑剤を適宜使用しても経年劣化する恐れがあります。O-リングが切れていたり、ささくれ様にめくれていたり、亀裂が入っていたら新品と交換してください。

## —洗浄・消毒・滅菌—

### <呼吸ヘッドの洗浄・消毒方法>



#### 呼吸ヘッド洗浄方法

- ① 温水で十分に洗浄します。  
・週1回は洗浄剤を用いて洗浄することを推奨します。
- ② 流水で十分にすすぎます。
- ③ 自然乾燥させます。

- ・治療終了後、呼吸ヘッドを濡れたまま放置すると、濡れた部分に雑菌が繁殖する可能性があります。十分に乾燥させてください。
- ・洗浄せずに次の治療に入ると、繁殖した雑菌を吸入することになり、感染の原因となります。治療終了時には必ず洗浄を行ってください。
- ・乾燥した呼吸ヘッドは、使用直前に組み立てるようにしてください。
- ・呼吸ヘッドを組み立てる前、吸入薬剤をネブライザーに入れる前に、必ず手指を消毒してください。

## 呼吸ヘッド消毒方法

①つけおき消毒を行います。消毒液として、

- ・ヒビテン、オスバンなどの消毒液
- ・次亜塩素酸ナトリウム水溶液
- ・ホワイトビネガーと水の混合溶剤

を用いることができます。消毒剤の濃度については、消毒剤メーカーの医療器具の消毒の指示に従い、つけおき消毒時間を厳守してください。

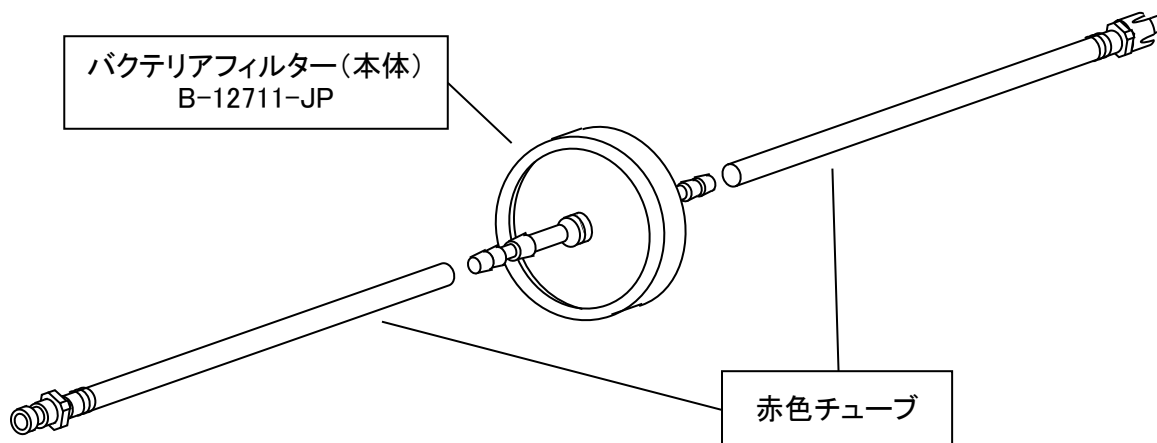
②温水で十分に濯ぎます。

③自然乾燥させます。

| 消毒液名   | 成分                        | 濃度                         | つけおき消毒の<br>目安時間 |
|--|---------------------------|----------------------------|-----------------|
| ヒビテン   | グルコン酸クロルヘキシジン<br>(5 w/v%) | 0.1~0.5%水溶液<br>(10倍~50倍希釈) | 30分以上           |
| オスバン   | 塩化ベンザルコニウム                | 0.1%水溶液<br>(100倍希釈)        | 10分以上           |
| ジアノックス、ピューラックス、<br>ミルトン等<br>(酸性の製剤との混合不可)            | 次亜塩素酸ナトリウム                | 0.05~0.1%                  | 20分以上           |
| ホワイトビネガー<br>(White Vinegar)<br>(次亜塩素酸系の溶剤<br>との混合不可) | 酢酸系溶剤                     | 400倍                       | 20分             |

## <バクテリアフィルターの取扱いについて>

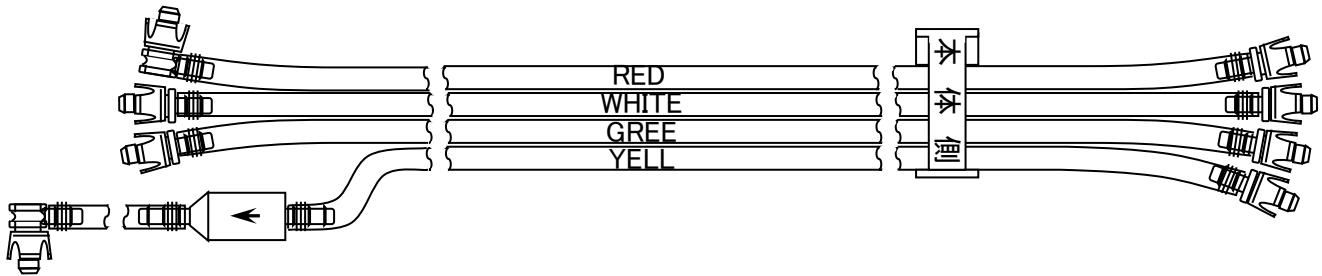
このバクテリアフィルターは、気道内圧計への汚染を防ぐ為に用いるものです。相互感染防止の点からこのフィルターは**患者それぞれの専用**とすべきもので、**患者間の共有はしないでください。**



接続する赤チューブに接続可能な、他社の双方向性バクテリアフィルターの使用は可能です。また他社のバクテリアフィルターを使用する場合は、製品の添付文書を必ず読み、使用方法等は添付文書に従ってください。

- ・ 単回使用型(滅菌不可)と再使用型(滅菌型)があります。
- ・ 再使用型は同一患者に使用する場合に限り滅菌できます。同一患者に長期使用する場合、再使用型(滅菌可)の使用を推奨します。滅菌する際は、使用するバクテリアフィルターの滅菌手順および添付文書の指示に従ってください。
- ・ 目詰まりや変色が生じた場合には、直ちに交換してください。

## <4連チューブの洗浄・消毒方法>



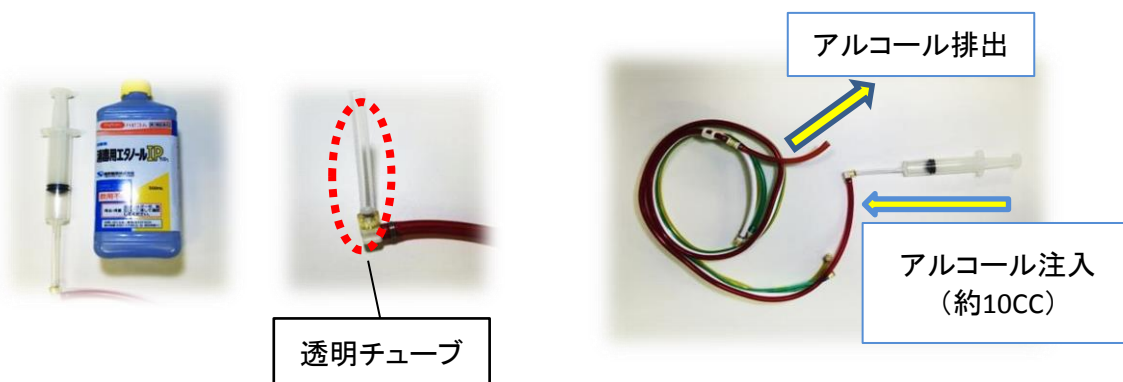
### 4連チューブ洗浄方法

- ① 水または洗浄剤を布に浸し、その布で外面を拭きます。
- ② 自然乾燥させます。

### ・4連チューブ消毒方法

気道内圧をモニターしている赤色チューブは、患者の呼気に曝されるため、汚染防止として消毒を行います。

- ① 水または洗浄剤を布に浸し、その布で外面を拭きます。
- ② 赤色チューブ内をアルコール消毒します。下図のように透明チューブを使用してください。
- ③ エアガン等でまずアルコールを気化させてから乾燥させます。



### ・異なる患者間での共有や長期間使用する場合は、滅菌を行います。

再使用型の呼吸回路を別の患者に使用する場合、患者間の相互感染を防止するため、必ず滅菌処理を行ってからご使用ください。

呼吸回路を長期間使用する際の滅菌の頻度は、各施設の基準に従って定期的に行ってください。

## <呼吸ヘッド滅菌方法>

- ① エチレンオキシドガス(EOG)滅菌が適用できます。

注意:

- ・部品損傷を避けるため、温度が60℃以上にならないように管理してください。
- ・滅菌後EOGが吸着しますので、エアレーション時間を厳密に管理してください。

- ② オートクレーブ滅菌が適用できます。  
滅菌条件は温度121℃、時間20分が標準です。  
\* セミディスポ呼吸ヘッドには適用できません。

## <4連チューブ滅菌方法>

エチレンオキシドガス(EOG)滅菌が適用できます。

<連絡先>

パーカッションエア・ジャパン株式会社

〒101-0053

東京都千代田区神田美土代町5-2

第2日成ビル6階

TEL:03-3233-0766 / FAX:03-3233-0768